



DIOCESE OF HIROSHIMA

ALEXIS MITSURU SHIRAHAMA
DEI ET APOSTOLICAE SEDIS GRATIA EPISCOPUS HIROSHIMAENSIS

BISHOP'S OFFICE
4-42 NOBORI-CHO
NAKA-KU HIROSHIMA
〒730-0016 JAPAN

PROT.N.

2025年4月22日 (火)

広島教区の兄弟姉妹の皆さん

広島教区 司教
アレキシオ 白浜 満

教皇フランシスコの訃報を受けて

+ Requiescat in Pace

主の復活の月曜日 (4月21日)、午前7時35分に、教皇フランシスコが88歳で帰天されました。全世界の信者の皆さん、また広島教区の兄弟姉妹の皆さんと心を合わせて、教皇フランシスコの永遠の安息を祈りたいと思います。

教皇フランシスコは、神のいつくしみを強調され、在任中に、とくに貧しい人々、弱い立場にある人々のいのちと権利を守ることに心を砕かれました。また、2019年11月には「すべてのいのちを守るため」というテーマのもとに来日されました。24日には2つの被爆地 (長崎と広島) を訪問され、広島の平和記念公園で行われた「平和のための集い」では直接、被爆者とも面会され、核兵器廃絶を訴える力強いメッセージを発信されました。

そして、教皇フランシスコは、教会の聖職者による性的虐待の問題や教会の改革にも力を注がれ、2021年～24年にかけて、第16回世界代表司教会議 (シノドス) を開催し、交わり、参加し、宣教に励むための「ともに歩む教会」づくりを推進してくださいました。

広島教区としては、来広された教皇フランシスコへの感謝を込めて、その永遠の安息を祈るミサを、2025年4月25日 (金) 10時から、世界平和記念聖堂 (カテドラル) おささげしたいと思います。また、各小教区におかれましては、次の主日のミサ (神のいつくしみの主日) の共同祈願の中で、そして奉献文の中で、教皇フランシスコのためにお祈りをささげていただければ幸いです。

共同祈願の例文

§いつくしみ深い神よ、あなたの忠実なしもべとして、12年間、世界の教会を導かれた教皇フランシスコをみもとに迎え、永遠の安らぎをお与えください。

§恵み豊かな神よ、あなたは教皇フランシスコを被爆地に遣わし、すべてのいのちを守るために世界の平和、とくに核兵器の廃絶を訴えてくださいました。わたしたちが教皇の意思を継いで平和の使徒としての使命を果たして行くことができますように。



以上

+ Alexis Mitsuru Shirahama